

授業科目名	ヘアメイク	科目分類	実習	
必修・選択	必修科目	単位時間数		45時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	前期
教員	(有) プリズム・プリズム	授業担当・外部講師	名取瞳、藤井奈穂、白鳥みや子、かすみきりこ	
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術				

ファッショントレーニング表現の幅を広げ、理解を深め、知識を蓄えるために、ヘアメイクの基本テクニックと応用テクニックの習得。実際に人にヘアメイクをほどこせるようになることが目標である

授業方法・形態

主として、ヘアメイクを使った実習を行う。授業ごとに習得するテクニックを決め、資料の配布と講師によるデモンストレーション、レクチャーとアドバイスを行う

回	授業計画・内容	実施日程
1	オリエンテーション：ヘア美容用語解説、ヘア用具の説明	4月8日
2	編み込み1：表編み、裏編み（プラッシング、プロッキング、コーミング含む）	4月15日
3	編み込み2：表編み、裏編み（プラッシング、プロッキング、コーミング含む）	4月22日
4	ヘアアイロン巻：MIX巻き、フォワード巻き、リバース巻き	5月13日
5	編み込みとアイロンのテクニックを使ったヘアスタイル：カチューシャ編み込み	5月20日
6	ストレートアイロンのテクニック：ストレート、波巻き	5月27日
7	ポニーテールのテクニック：ゴムの結び方、色々な位置のポニーテールについて	6月3日
8	お団子のテクニック：ピニン/シニヨン（お団子ヘア）、毛先の逆毛テクニック	6月10日
9	人にヘアメイクをする1：相モデルでヘアメイクをする1回目	6月17日
10	トレンドのヘアアレンジテクニック：くるりんぱ、玉ねぎ、編みおろし	6月24日
11	アレンジヘアテクニック：ウォーターフォール、お花、ハート	7月1日
12	ポンパドールのテクニック：下目のアップスタイル、ホットカーラー巻き、根本の逆毛	7月8日
13	浴衣に似合うヘアスタイル：これまで習得したテクニックを使いヘアスタイルを仕上げる	7月15日
14	人にヘアメイクをする2：相モデルでヘアメイクをする2回目	7月22日
15	夜会巻きのテクニック：ホットカーラー巻き、根本の逆毛、ピニンテクニック	9月2日
16	実技テスト：テーマを決め、テーマに沿ったヘアスタイルをつくる	9月9日
17	人にヘアメイクをする3：相モデルでヘアメイクをする3回目	9月16日
18	人にヘアメイクをする4：相モデルでヘアメイクをする4回目	9月30日
19		
20		

評価方法・評価基準

各項目に標準点を置き講師からのレクチャーやアドバイスに対して「授業参加」20ポイント、「課題提出・習熟度」20ポイント、学期末に実施予定の「実技試験」50ポイント「コンセプトシート」10ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経験	実務者教員
名取瞳、藤井奈穂、白鳥みや子、かすみきりこ ヘアメイクアップアーティストとして5年以上の実務経験があり、ヘアメイクに関する技術と知識を豊富に持つ	○

授業科目名	メイクアップ	科目分類	講義	
必修・選択	必修科目	単位時間数		47.5時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	前期
教員	(有) プリズム・プリズム	授業担当・外部講師	名取瞳、かすみきりこ	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

メイクアップの基本的な知識、歴史やトレンドを知ることで、ファッションとの関連性を理解する。
オンラインでの授業となるため実践はできないが、スキンケアの基礎知識を始め、顔の部分ごとのメイク理論の認識を高め、実践テクニックの向上をはかる。

授業方法・形態

オンラインにて座学のスタイル。毎授業ごとに、ミニテストを行う。1つのテーマでレポートを提出する

回	授業計画・内容	実施日程
1	オリエンテーション： 講師紹介、メイクアップ概論(歴史や目的などの解説)	4月11日
2	メイクアップの歴史：時代とメイク #1 (1930～1970)	4月18日
3	メイクアップの歴史：時代とメイク #2 (1990～現在)	4月25日
4	スポイベ	5月9日
5	メイクアップの歴史：時代とメイク #3 (多様化する現代のメイクアップトレンド)	5月16日
6	メイクアップの歴史：時代とメイク #4 (メンズメイク/ジェンダーレス)	5月23日
7	基本のメイクテクニック #1：ベースメイク	5月30日
8	基本のメイクテクニック #2：アイメイク	6月6日
9	基本のメイクテクニック #3：アイメイク	6月13日
10	基本のメイクテクニック #4：チークとリップ	6月20日
11	顔型修正メイク：顔のゴールデンプロポーションの理解	6月27日
12	印象をつくるメイクアップ #1：表現したいテーマに合わせたメイクアップのつくり方	7月4日
13	印象をつくるメイクアップ #2：表現したいテーマに合わせたメイクアップのつくり方	7月11日
14	コレクションメイク：ハイブランドのランウェイショーからメイクとファッションの関係性を知る	7月18日
15	前期修了ショー	7月25日
16	スキンケアの基本	9月5日
17	メイクアップの構築方法 #1：どのようにメイクアップ表現を考えるか	9月12日
18	メイクアップの構築方法 #2：どのようにメイクアップ表現を考えるか	9月19日
19	遠足	9月26日
20		

評価方法・評価基準

各項目に標準点を置き「授業参加」20ポイント、「ミニテストの提出、成績」60ポイント、「レポートの提出、内容」20ポイントとして評価をする

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
名取瞳、かすみきりこ ヘアメイクアップアーティストとして5年以上の実務経験があり、ヘアメイクに関する技術と知識を豊富に持つ	○

授業科目名	英会話	科目分類	演習				
必修・選択	必修科目	単位時間数		25時間			
科目設置学科	スタイルリスト科	対象学年	1年次	後期			
教員	梨本 雅子	授業担当・外部講師	梨本 雅子				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
ファッション用語を中心とした基本的英会話力の取得 カラー・柄・素材・スタイルの表現方法及び日常英会話（買い物・旅行等）・文法・海外トレンド理解							
授業方法・形態							
オンラインにて、オリジナル資料による学習と相互会話 課題提出と会話の繰り返しによる復習							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	授業内容説明・自己紹介作成			10月3日			
2	基本英単語クイズ・英語挨拶・はじめの会話			10月10日			
3	ファッションに関連した単語の基本知識1（カラー・柄・素材等）			10月17日、24日			
4	ファッションに関連した単語の基本知識2（スタイル・種類等）			10月31日、11月7日			
5	英語と和製英語の違いについて（勘違い英語を知ろう）			11月14日			
6	日本と海外の使用単語の違いについて（ファッション用語含）・海外トレンド解説			11月21日			
7	英語日常会話の基本と実践1（動詞・名詞その他）			11月28日			
8	英語日常会話の基本と実践2（動詞・文法その他）			12月5日			
9	海外での買い物における基本会話・シミュレーション実施			12月12日			
10	英単語の復習と修得確認課題と評価			12月19日			
11	英語日常会話の復習と修得確認課題と評価			1月9日			
12	テストのための総合復習（単語・基本会話）			1月16日			
13	期末テスト実施（オンラインベースの記入及び選択問題）			1月23日			
14	テスト返却と解説・英語スラング紹介			1月30日			
15	ファッションショーアップ			2月6日～2月27日			
16							
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
出席と授業参加評価・課題提出状況・期末テスト点数							
教科書・参考書・資料・文献							
オリジナルPowerPoint資料・『WORD by WORD English Picture Dictionary』							

担当教員の経歴・実務経験	実務者教員
ISSEI MIYAKEパリコレ衣装制作アシスタント・株式会社ワールド オリジナルブランドデザイナー・ミュージシャン、芸人舞台衣装デザイン及び製作・アパレルブランド総合プロデュース・アパレルグラフィックデザイナー・TFACグラフィックデザイン及びビジネス関連授業担当・現在アメリカサンゼルス在住	○

授業科目名	クリエイティブグラフィックス	科目分類	実習				
必修・選択	必修	単位時間数		100時間			
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	通年			
教員	田中小百合	授業担当・外部講師	田中小百合				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
Macパソコンを利用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）の基礎知識、基礎技術の習得 1.MacPCの扱い方を始め、Illustrator、Photoshopなどのデザイン制作ソフトの基本操作を学ぶ 2.デザインを構築するためのノウハウを学び、チラシやDMなどの紙面や、EC制作に応用ができる技術と知識を習得する 3.画像形式などの種類や使い分けに関する基礎知識を学び、デジタル分野におけるデータの取り扱い方法を習得する							
授業方法・形態							
主にMacPCを使用した実習と、座学。前面モニターでは教員がソフトを操作する様子がリアルタイムに投影されており、その操作手順を確認しながら、学生1人1人に割り当てられたPCで実際に作業の練習を行い、ソフトの操作方法や技術を習得していく。時には作品制作を通して自身の技術の習得度を測り、苦手な作業分野の再習得と、得意な分野の更なる向上を目指す。							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	授業内容の説明、PC周辺機器に関する基礎知識（座学）、ソフトの種類の説明			4月9日			
2	Illustratorの基本操作習得／選択ツール、図形の描画と変形、色の付け方、動物のイラスト作成			4月16日			
3	Illustratorの基本操作習得／図形ツールの応用、並び順、パスファインダー、建物のイラスト作成			4月23日			
4	臨時休校			4月30日			
5	Illustratorの基本操作習得／コピーとペースト、回転、反転、線ツール、アイコンの作成			5月7日			
6	Illustratorの基本操作習得／ベクターデータの復習、ペンツールを使ったイラストのトレース			5月14日			
7	Illustratorの基本操作習得／線ツール・ペンツールの応用、パスの結合、ハンガーラストの作成			5月21日			
8	Illustratorの基本操作習得／ペンツールを使用したアバター制作			5月28日			
9	Illustratorの基本操作習得／基本操作復習			6月4日			
10	Illustratorの基本操作習得／文字ツール、クリッピングマスクの説明、メニュー表の作成			6月11日			
11	Illustratorの基本操作習得／文字入れの使い分け、文字の組み方、自己紹介シートの作成			6月18日			
12	Illustratorの基本操作習得／パターンの作り方、写真の埋め込み・リンク、クリッピングマスク②			6月25日			
13	Illustratorの基本操作習得／好きなブランドでルックブックの作成①／内容説明、素材集め			7月2日			
14	Illustratorの基本操作習得／好きなブランドでルックブックの作成②／制作時間			7月9日			
15	Illustratorの基本操作習得／デザイン4原則、アピアランス・効果を利用したオリジナルロゴの作成			7月16日			
16	前期ショーリハーサル			7月23日			
17	Illustratorの基本操作習得／画像形式について、テスト対策日(範囲出題、復習)			9月3日			
18	前期期末テスト／Illustrator・Photoshopの基本知識・技術の確認、後期授業と宿題の説明			9月10日			
19	Illustratorの基本操作習得／チラシのトレース練習①／内容説明、文字ツールの復習、効果ツール			9月17日			
20	Illustratorの基本操作習得／チラシのトレース練習②／作業時間、文字のアウトライン化について			9月24日			
評価方法・評価基準							
1.課題評価（ソフトやPCに関する知識の理解・技術の習得度、オリジナリティの表現、応用力） 2.授業姿勢（授業態度、積極性、出席率などの評価項目）							
教科書・参考書・資料・文献							
Adobe ラーニング							

担当教員の経歴・実務経験	実務者教員
阿佐ヶ谷美術専門学校 卒業 同校にてPC工房管理助手を務めたのち、学校法人日本プリントティングアカデミーにて、広報物のインハウスデザイナー兼、デザイン系ソフトの講師として教務を担当。企業向けセミナー講師の経験有り。	○

授業科目名	クリエイティブグラフィックス	科目分類	実習				
必修・選択	必修	単位時間数		100時間			
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	通年			
教員	田中小百合	授業担当・外部講師	田中小百合				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
Macパソコンを利用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）の基礎知識、基礎技術の習得							
1.MacPCの扱い方を始め、Illustrator、Photoshopなどのデザイン制作ソフトの基本操作を学ぶ							
2.デザインを構築するためのノウハウを学び、チラシやDMなどの紙面や、EC制作に応用ができる技術と知識を習得する							
3.画像形式などの種類や使い分けに関する基礎知識を学び、デジタル分野におけるデータの取り扱い方法を習得する							
4.前期の内容を活かし、初心者～中級者レベルのスキルアップ							
授業方法・形態							
主にMacPCを使用した実習と、座学。前面モニターでは教員がソフトを操作する様子がリアルタイムに投影されており、その操作手順を確認しながら、学生1人1人に割り当てられたPCで実際に作業の練習を行い、ソフトの操作方法や技術を習得していく。時には作品制作を通して自身の技術の習得度を測り、苦手な作業分野の再習得と、得意な分野の更なる向上を目指す。							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	Photoshopの基本操作習得／ソフトの違いについて復習、操作説明、簡単な画像加工			10月1日			
2	Photoshopの基本操作習得／明るさ・コントラスト、トーンカーブ、色調補正について			10月8日			
3	Photoshopの基本操作習得／選択ツール各種、選択とマスク、切り抜きを使った合成写真の作成			10月15日			
4	海外研修			10月22日			
5	Photoshopの基本操作習得／修復ツールを使った写真のリタッチ方法			10月29日			
6	Photoshopの基本操作習得／効果の使い方、変形ツール、駅構内モックアップの作成			11月5日			
7	Photoshopの基本操作習得／カラーモード、画像解像度について			11月12日			
8	Photoshopの基本操作習得／歪みツール、文字ツール、エフェクトを利用した画像加工テクニック①			11月19日			
9	Photoshopの基本操作習得／エフェクトを利用した画像加工テクニック②			11月26日			
10	Illustrator・Photoshopを使用した作品制作／夏休みの思い出①、内容説明、素材集め、解像度について			12月3日			
11	Illustrator・Photoshopを使用した作品制作／夏休みの思い出②、紙面制作			12月10日			
12	Illustrator・Photoshopを使用した作品制作／フェスイベントチラシ制作			12月17日			
13	Illustrator・Photoshopを使用した作品制作／オリジナルブランド制作①、内容説明、ロゴ制作			12月24日			
14	Illustrator・Photoshopを使用した作品制作／オリジナルブランド制作②、モックアップ作成			1月7日			
15	Photoshopの基本操作習得／テスト対策日(範囲出題、復習)			1月14日			
16	後期期末テスト／Illustrator・Photoshopの基本知識・技術の確認			1月21日			
17	Illustrator・Photoshopを使用した作品制作／ポートフォリオ作成			1月28日			
18	FS期間			2月4日			
19	FS期間			2月18日			
20	FS片付け日			2月25日			
評価方法・評価基準							
1.課題評価（ソフトやPCに関する知識の理解・技術の習得度、オリジナリティの表現、応用力）							
2.授業姿勢（授業態度、積極性、出席率などの評価項目）							
教科書・参考書・資料・文献							
Adobeラーニング							
担当教員の経歴・実務経歴							
阿佐ヶ谷美術専門学校 卒業 同校にてPC工房管理助手を務めたのち、学校法人日本プリンティングアカデミーにて、広報物のインハウスデザイナー兼、デザイン系ソフトの講師として教務を担当。企業向けセミナー講師の経験有り。							
○							

授業科目名	スタイリスト実習Ⅰ	科目分類	実習				
必修・選択	必修科目	単位時間数		205時間			
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	通年			
教員	中野みづき、松田亜侑美	授業担当・外部講師	中野みづき、松田亜侑美				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
前期はスタイリストアシスタントになるための技術の習得を目的とし撮影現場の研修に参加できるように基礎を学ぶ。							
1.スタイリスト、スタイリストアシスタント業務の理解、撮影現場で必要な技術の習得 2.撮影現場で必要な気づかい、振る舞い方、コミュニケーション能力の取得 3.現場での問題解決能力や柔軟な対応力 4.撮影現場、アパレル業界で使われる用語の理解							
授業方法・形態							
現役スタイリストが撮影現場で必要なスチーマー、フィッティング・縫製技術や撮影の立ち会い方の指導。実際の撮影現場において研修実習を行い、学生が今後進みたいスタイリストのジャンルを選択できるようにアドバイスを行う。技術指導に関しては実習ごとに、学生の進捗状況に応じて柔軟に調整する。							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	オリエンテーション①：研修制度の説明、ビジネスマナー、道具説明			4月10日			
2	オリエンテーション②：授業の説明、仕事のジャンル紹介／フィッティング①：スカーフの結び方			4月17日			
3	アイロン、スチーマー①：使い方、洗濯アイロン表示、シャツ基礎練習			4月24日			
4	現場業務②：リース、ピックアップ、返却、リース伝票、交通費／商品知識①：アイテム、色の略語			5月1日、8日			
5	スチーマー②：シャツ基礎練習／裾上げ①：説明、基礎練習			5月15日			
6	現場業務③：タグ管理／フィッティング②：トップスの着替え方、スチール撮影用サイズ詰め			5月22日			
7	スチーマー③：異素材練習／現場業務④：ハンガーのかけ方、ガーメント練習			5月29日			
8	現場業務⑤：ムービー、スチール撮影の立ち会い方、グループ撮影／フィッティング③：靴			6月5日			
9	アイロン②：シャツ基礎練習／裾上げ②：基礎練習／フィッティング④：ウエスト詰め			6月12日			
10	現場実務⑥：スチール撮影（底張り、タグ管理、立ち会い）／スチーマー④：1コーデ／フィッティング⑤：着替え			6月19日			
11	スチーマー⑤：異素材練習／裾上げ③：基礎練習、応用			6月26日			
12	スチーマー⑥：シャツ基礎練習、ミニテスト／フィッティング⑥：靴			7月3日			
13	現場業務⑨：和装の基礎知識、浴衣の着付け、畳み方／スチーマー⑦：浴衣			7月10日			
14	フィッティング⑦：ドレス、パニエ／現場業務⑩：ロケバスでの着替え方、アシスタントの振る舞い方			7月17日			
15	前期ショー リハーサル			7月24日			
16	現場業務⑪：筆記テスト、しみ抜き、秋冬撮影の注意点			9月4日			
17	スチーマー⑧：実技テスト＆フィードバック			9月11日			
18	現場業務⑫：タグ管理復習／フィッティング⑧：着替え方復習／商品知識②：トップス			9月18日			
19	スチーマー⑨：異素材練習／裾上げ④：ミニテスト			9月25日			
20							
評価方法・評価基準							
課題提出15%、授業参加15%、テストによる能力評価70% 課題は概要を理解する読解力、撮影したスタイリングのフィッティングや写真の仕上がりが評価対象							
教科書・参考書・資料・文献							
「スタイリングブック」高村是州著							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
中野みづき 東京服飾専門学校 卒業：フリーランス スタイリストとして5年以上の実務担当し、雑誌・スチール撮影、レディースに関する知見を豊富にもつ。	
松田亜侑美 東京服飾専門学校 卒業：フリーランス スタイリストとして5年以上の実務担当し、スチール・ムービー撮影の関する知見を豊富にもつ。	○

授業科目名	スタイリスト実習Ⅰ	科目分類	実習	
必修・選択	必修科目	単位時間数		205時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	通年
教員	中野みづき、松田亜侑美	授業担当・外部講師	中野みづき、松田亜侑美	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

後期は前期で学んだ技術の向上、研修でのアシスタント業務に対応する応用力、商品知識の習得に重点を置く。

- 1.スタイリスト、スタイリストアシスタント業務の理解、撮影現場で必要な技術の習得
- 2.撮影現場で必要な気づかい、コミュニケーション能力の取得
- 3.現場での問題解決能力や柔軟な対応力
- 4.撮影現場、アパレル業界で使われる用語の理解

授業方法・形態

現役スタイリストが撮影現場で必要なスチーマー、フィッティング・縫製技術や撮影の立ち会い方の指導。実際の撮影現場において研修実習を行い、学生が今後進みたいスタイリストのジャンルを選択できるようにアドバイスを行う。技術指導に関しては実習ごとに、学生の進捗状況に応じて柔軟に調整する。

回	授業計画・内容	実施日程
1	商品知識③：ニット／現場業務⑬：ヘアカタログ撮影用モデル決め、コーデリサーチ	10月2日
2	現場業務⑭：研修についての質疑応答、苦手分野の反復練習	10月9日
3	スチーマー⑩：異素材練習／裾上げ⑤：応用／フィッティング⑦：ウエスト詰め応用	10月16日
4	現場業務⑯：ヘアカタログ撮影 コーデ組み準備、コーデ組み、コーデチェック＆提出	10月23日
5	海外研修	10月30日
6	現場業務⑯：撮影準備、ヘアカタログ撮影、写真セレクト、衣装クレジット作成/スチーマー⑪：異素材	11月6日
7	スチーマー⑫：異素材ミニテスト＆フィードバック	11月13日
8	現場業務⑰：撮影フィードバック／商品知識④：レディースアウター／フィッティング⑧：アウターの詰め方	11月20日
9	裾上げ⑥：ミニテスト＆フィードバック／底張り②：ミニテスト＆フィードバック	11月27日
10	商品知識⑤：スカート、ワンピ／フィッティング⑨：スカートのレングス	12月4日
11	アイロン③：ミニテスト＆フィードバック	12月11日
12	商品知識⑥：レディース靴、ヒールの測り方	12月18日
13	スチーマー⑬：異素材練習	12月25日
14	商品知識⑦：パンツ／現場業務⑯：置きコーデの撮影	1月8日
15	スチーマー⑭：実技テスト＆フィードバック、異素材練習	1月15日
16	商品知識⑧：筆記テスト／現場業務⑯：1年間のまとめ	1月22日
17	現場業務⑰：1年間の復習	1月29日
18	卒業制作ファッションショーショー期間	2月5日～26日
19		
20		

評価方法・評価基準

課題提出15%、授業参15%、テストによる能力評価70% 課題は概要を理解する読解力、撮影したスタイリングのフィッティングや写真の仕上がりが評価対象

教科書・参考書・資料・文献

「スタイリングブック」高村是州著

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
中野みづき 東京服飾専門学校 卒業：フリーランス スタイリストとして5年以上の実務担当し、雑誌・スチール撮影、レディースに関する知見を豊富にもつ。	○
松田亜侑美 東京服飾専門学校 卒業：フリーランス スタイリストとして5年以上の実務担当し、スチール・ムービー撮影の関する知見を豊富にもつ。	

授業科目名	スタイリング	科目分類	演習	
必修・選択	必修	単位時間数		100時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	通年
教員	持田洋輔	授業担当・外部講師	持田洋輔	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

基礎知識～実践的な内容を取り入れ新しい知識や考え方を習得し、実際の仕事を身近に感じていく。

〈到達目標・習得技術〉服飾の知識・技術についての学習や実践を繰り返し行う事で、プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力・発想力を育てていく。

授業方法・形態

実際の現場で使用する技術を中心に練習を行う。繰り返し行う事で現場に出た際に役立つ技術習得を目指す。

回	授業計画・内容	実施日程
1	自己紹介/授業内容の説明/底張り練習（説明）	4月9日
2	イメージマップ作成/自己分析	4月16日
3	底張り練習	4月23、30日
4	ネクタイ説明&練習/スタイリングブック(ネクタイ)	5月7日
5	トルソーの着せ方・置き撮り、吊るしの仕方&写真の撮り方1	5月14日
6	トルソーの着せ方・置き撮り、吊るしの仕方&写真の撮り方2 プrezent講評	5月21日
7	底張り練習	5月28日
8	洋服の畳み方（スーツ・カジュアル服）1	6月4日
9	洋服の畳み方（スーツ・カジュアル服）2	6月11日
10	サイズ採寸/靴紐の結び方	6月18日
11	底張り練習/ネクタイ練習	6月25日
12	スーツ類スチーマー練習	7月2日
13	底張り練習/ネクタイ練習/チーフ差し方説明&練習	7月9日
14	夏休み前総復習/質疑応答	7月16日
15	前期修了ショーリハーサル	7月23日
16	スタイリングブック(ジャケット)	9月3日
17	スタイリングブック(ジャケット・シャツ)	9月10日
18	ブランドリサーチ(兼PowerPoint練習)1	9月17日
19	ブランドリサーチ(兼PowerPoint練習)2	9月24日
20		

評価方法・評価基準

出席率・提出物・テスト・プレゼンのクオリティ、また授業時の態度、発言等、総合的に評価（実習60% 講義40%）

教科書・参考書・資料・文献

スタイリングブック:高村是州著

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
東京服飾専門学校 スタリスト科卒業 アシスタント期間を得て、スタリスト職として10年以上経験	○

授業科目名	スタイリング	科目分類	演習				
必修・選択	必修	単位時間数		100時間			
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	通年			
教員	持田洋輔	授業担当・外部講師	持田洋輔				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
基礎知識～実践的な内容を取り入れ新しい知識や考え方を習得し、実際の仕事を身近に感じていく。 〈到達目標・習得技術〉服飾の知識・技術についての学習や実践を繰り返し行う事で、プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力・発想力を育てていく。							
授業方法・形態							
実際の現場で使用する技術を中心に練習を行う。繰り返し行う事で現場に出た際に役立つ技術習得を目指す。							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	ブランドリサーチ(兼PowerPoint練習) 3 プレゼン講評			10月1日			
2	スタイリングブック(フットウェア)1			10月8日			
3	スタイリングブック (フットウェア)2			10月15日			
4	作品撮り企画1			10月22,29日			
5	作品撮り企画2			11月5日			
6	作品撮り撮影			11月12日			
7	作品撮りのプレゼン/スタイリングブック (ニット、カットソー)			11月19日			
8	スタイリングブック(ジャンパー・ベスト・コート)			11月26日			
9	マフラーの巻き方			12月3日			
10	コーディネートプレゼン1			12月10日			
11	コーディネートプレゼン2			12月17日			
12	スタイリングブック(デニム・眼鏡・時計)			12月24日			
13	スタイリングブック(予備・復習)			1月7日			
14	テスト対策			1月14日			
15	後期テスト			1月21日			
16	テスト返却/質疑応答			1月28日			
17	卒業制作ファッションショ一期間			2月4～25日			
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
出席率・提出物・テスト・プレゼンのクオリティ、また授業時の態度、発言等、総合的に評価 (実習60% 講義 40%)							
教科書・参考書・資料・文献							
スタイリングブック:高村是州 著							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
東京服飾専門学校 卒業 アシスタント期間を得て、スタイリスト職として10年以上経験	○

授業科目名	スタイル画&デザイン	科目分類	実習	
必修・選択	必修	単位時間数		50時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	後期
教員	石川和男	授業担当・外部講師	石川和男	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

この科目では、基礎的なデザイン力と表現力に必要なスタイル画を描く技術を身につけ、具体的なイメージを他者に伝えるための重要なスキルとします。また、デザインの基礎を学ぶことで、服やアイテムの選定、コーディネートに対するセンスを磨き、デザインへの理解を深めます。

<到達目標・習得技術>

- ・デザインやスタイリングをイラストで表現する技術を身につけ、視覚的にわかりやすく伝える能力を身につける。
- ・アイデアやインスピレーションをもとに造形をクリエーションする能力、センスや表現力を身につける。

授業方法・形態

スタイル画やデザイン案をスケッチしたりする実技のワークショップが中心となります。基本的な画材の知識から実際に手を動かしてスタイル画を描くことで、技術的なスキルを身につけます。初めてスケッチをする学生には、基本的な描き方から始まり、課題ごとのフィードバックを行いながら徐々に高度な技術を学んでいきます。

回	授業計画・内容	実施日程
1	オリエンテーション、ドローイング練習（色鉛筆×モチーフ）	10月7日
2	人物クロッキー会	10月14日
3	スタイル画（8-9頭身ヌード、基本、応用ポーズ）トレース、描写、ペン入れ	10月21日
4	海外研修	10月28日
5	スタイル画（基本ポーズ）着装（共通シャツ、スカート）	11月4日
6	スタイル画（着彩画材：色鉛筆）	11月11日
7	スタイル画（着彩画材：マーカー）	11月18日
8	スタイル画（課題作品制作：フリースタイル）1	11月25日
9	スタイル画（課題作品制作：フリースタイル）2 プレゼン講評	12月2日
10	デザイン基礎（課題作品制作：ファッショングジャンル別コラージュ）1	12月9日
11	デザイン基礎（課題作品制作：ファッショングジャンル別コラージュ）2 プレゼン講評	12月16日
12	デザイン基礎（課題作品制作：幾何学パターンデザイン）1	12月23日
13	デザイン基礎（課題作品制作：幾何学パターンデザイン）2 プレゼン講評	1月6日、13日
14	デザイン基礎（課題作品制作：指定素材アイテム、コーディネイトデザイン）1	1月20日
15	デザイン基礎（課題作品制作：指定素材アイテム、コーディネイトデザイン）2 プレゼン講評	1月27日
16	卒業制作ファッションショ一期間	2月3日～24日
17		
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

1.課題評価（作業量・技術面・表現力・感性・思考）5課題 80%

2.授業姿勢（課題期限、出席率などの評価項目）20%

教科書・参考書・資料・文献

ファッションデザインテクニック：高村是州著

Fabric for Fashion The Swatch Book : Clive Hallett & Amanda Johnston著 秋冬シーズンスワッチ

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
武蔵野美術大学大学院卒 Beige shop、ryuichiro shimazakiデザイン室、株式会社ポイントアップ（ワコール・グループ）、タキヒヨー株式会社、株式会社トーメン、株式会社ラナグループ ライセンシー事業部TOMMYHILFIGERデザイナー、その他との社内外デザイナー業務契約を通してデザイン業務の経験が豊富にもつ。	○

授業科目名	カメラ撮影実習	科目分類	講義・実習				
必修・選択	必修科目	単位時間数		50時間			
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	後期			
教員	福嶋哲平	授業担当・外部講師	福嶋哲平				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
商品情報やコーディネイトの撮影など、ファッショニ情報に不可欠な写真撮影の技術を習得することで、 1.一眼レフやミラーレス一眼デジタルカメラの使用方法を習得する 2.撮影に使うカメラ機材やスタジオ撮影機器などを実際に操作し、名称や正しい使用方法を修得する 3.構図やアングル、絞り数値やシャッター速度などの知識や技術を学び、適切な手法を用いた撮影ができるようにする 4.多様な撮影を行うことで、感性や表現力の向上につなげていく							
授業方法・形態							
シャッター速度や絞り数値など写真撮影に関する技術や知識を学び、その技術を実際に一眼レフカメラを使った撮影実習を行うことで理解して身に付ける。 技術指導に関しては全国誌などで撮影経験を持つ講師が指導し、学生の修得状況に応じた指導を行う。							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	ピントの合わせ方やレンズ交換、データのPC移行など基本的なデジタルカメラの操作方法			10月7日			
2	Pモードを使用したストリートスナップの撮影とアングルについて			10月14日			
3	Av（絞り優先）モードを使用した、ボケを活かした撮影			10月21日			
4	Tv（シャッター速度優先）モードを使用した、動きのある被写体の撮影			10月28日			
5	Tv（シャッター速度優先）モードを使用した、動きのある被写体の撮影（流し撮り）			11月4日			
6	構図を意識した写真撮影1（日の丸構図・三角構図・二分割構図・三分割構図）			11月11日			
7	構図を意識した写真撮影2（シンメトリー構図・対角線構図・放射線構図）			11月18日			
8	光源を意識した写真撮影1（順光・斜光・サイド光）			11月25日			
9	光源を意識した写真撮影2（半逆光・逆光）			12月2日			
10	撮影セットを組んでの物撮り			12月9日			
11	ペーパーテスト			12月16日			
12	ペーパーテストの答え合わせ・前半撮影の講評			12月23日			
13	スタジオ撮影1（グループ分け・企画書の作成・撮影準備）			1月6,13日			
14	スタジオ撮影1（スタジオセットを組んでの撮影・グループ分け）			1月20日			
15	スタジオ撮影2（スタジオセットを組んでの撮影）			1月27日			
16	卒業制作ファッションショーアンケート			2月3～24日			
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題評価100点、定期試験を100点として平均値を算出し、成績評価を行う。 なお、成績評価が60点未満の場合は補習対象となる。							
教科書・参考書・資料・文献							
なし							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
株式会社アスキー・株式会社内外出版社にて15年以上の実務担当し、出版・編集に関する知見を豊富に持つ。	○

授業科目名	素材学	科目分類	講義	
必修・選択	必修科目	単位時間数		35時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	後期
教員	古賀由紀夫	授業担当・外部講師	古賀由紀夫	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し、製作、販売、コーデネートに役立てる。

繊維、生地の名前を知る。繊維の分類、種類、特性を知る。生地、製品の取り扱い方を知る。

授業方法・形態

オンライン講義

回	授業計画・内容	実施日程
1	アパレル素材とは/アパレル、衣服	10月6日
2	アパレル素材とは/繊維とファッショ	10月20日
3	天然繊維/毛、麻、綿、絹	10月27日
4	繊維の分類、化学繊維/再生繊維 半合成繊維 合成繊維	11月10日
5	糸について/撚り、太さ、長さ	11月17日
6	織物の三原組織/平織、綾織、朱子織	12月1日
7	基本的な柄の名前/ストライプ、チェック、プリント	12月8日
8	秋冬の布/毛、加工、保温、防風	12月15日
9	素材の扱い/洗濯、プレス、保管	12月22日
10	編み物について/ニット製品	1月19日
11	裏地 芯地について/表地以外、付属品など	1月26日
12	加工について/機能、見た目、手触り	2月2日
13	デニムとジーンズ/歴史と進化	2月9日
14	不織布について/不織布 フェルト	2月16日
15		
16		
17		
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

レポート 提出物 平常点の平均

教科書・参考書・資料・文献

教科書 わかりやすいアパレル素材の知識 一見輝彦著

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
中央大学卒 雑誌編集者として、文化出版局にて装苑、ハイファッショなど編集業務をする 10年。 ニットデザイナー、手芸家として東京コレクション、雑誌などに作品を提供。	○

授業科目名	服飾史	科目分類	講義			
必修・選択	必修科目	単位時間数		45時間		
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	前期		
教員	古賀由紀夫	授業担当・外部講師	古賀由紀夫			
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術						
古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材、形、構造など。 製品、商品のデザインなどを理解して説明などに役立てる。						
授業方法、形態						
オンライン講義						
回	授業計画・内容			実施日程		
1	衣服の起源/気候、環境、社会など			4月7日		
2	衣服の形、素材/巻く、結ぶ、被る、毛、麻、綿、絹			4月14日		
3	古代エジプト、メソポタミア/腰衣、ロインクロス			4月21日		
4	古代ギリシャ、ローマ/巻く、ペプロス、キトン			4月28日		
5	ビザンチン、ロマネスク/チュニック、上着			5月12日		
6	ゴシック/上衣、下衣			5月19日		
7	ルネサンス/男子、女子			5月26日		
8	バロック/フランス宮廷の衣装			6月2日		
9	ロココ/コルセット、マナー			6月9日		
10	フランス革命、ナポレオン/市民、軍服、古代回帰			6月16日		
11	近代、市民革命/ドレス ジャケット パンツ シャツ			6月23日		
12	世紀末/文化、様式、デザイン、既製服			6月30日		
13	20世紀、近代/働く女性			7月7日		
14	アールヌーボー、アールデコ/デザイン様式			7月14日		
15	1930年台/新しい文化、アメリカの影響			9月1日		
16	アートとファッション/シュールレアリズム			9月8日		
17	第二次世界大戦/ミリタリールック			9月22日		
18	メンズウェア/スーツ 三揃い シャツ			9月29日		
19						
20						
評価方法・評価基準						
レポート、課題の提出 平常点 以上の平均点						
教科書・参考書・資料・文献						
教科書/世界服飾史 深井晃子 美術出版社						

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
中央大学卒 雑誌編集者として、文化出版局にて装苑、ハイファッショングなどの編集業務をする 10年。 ニットデザイナー、手芸家として東京コレクション、雑誌などに作品を提供。	○

授業科目名	色彩学	科目分類	講義	
必修・選択	必修科目	単位時間数		23.75時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	前期
教員	堀川彩里	授業担当・外部講師	堀川彩里	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、文部科学省後援AFT色彩検定3級の取得を目指すことを主目的とし、実務にむけた色彩知識を学ぶ。
 色彩検定日：2025年11月9日（受験申込者のみ）
 ①習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する ②表現したいファッショニメージに合わせて、ロジックに基づいてカラーコーディネートの提案が出来るようになる ③パーソナルカラー（人それぞれに似合う色）の概要を理解し、デザイン、スタイリング、企画、販売などそれぞれの分野に役立つ知識を習得する（色彩応用編）。

授業方法・形態

授業方法：オンライン

形態：講義100%（チャットによる質疑応答も含む）

回	授業計画・内容	実施日程
1	オリエンテーション：色彩検定の概要・色の表示①：色の分類と三属性	4月11日
2	色の表示②：PCCSを学ぶ	4月18日
3	色の表示③：PCCSトーン、トーンマップ作成・色彩心理①：色の心理的効果	4月25日
4	スポーツイベント	5月9日
5	色彩心理②：色の視覚効果	5月16日
6	ファッションと色彩、流行色・色彩調和①：PCCSを用いた色相配色とトーン配色	5月23日
7	色彩調和②：PCCSを用いたトーン配色	5月30日
8	色彩調和③：アクセントカラー、セパレーション、グラデーション	6月6日
9	色彩調和④：配色イメージ・イメージに合わせたファッションカラーコーディネート①	6月13日
10	イメージに合わせたファッションカラーコーディネート②	6月20日
11	イメージに合わせたファッションカラーコーディネート③	6月27日
12	光と色①：混色と混色の身近な応用例	7月4日
13	光と色②：色が見えるしくみ	7月11日
14	光と色③：照明の色、視覚	7月18日
15	前期修了ショー	7月25日
16	検定対策①：色彩検定の概要・インテリアと色彩・色名・全7項目ごとの出題ポイント解説	9月5日
17	検定対策②：全7項目ごとの出題ポイント解説、模擬テスト	9月12日
18	パーソナルカラー概論・UD:色覚の多様性に配慮した、誰もが見やすい色使い	9月19日
19	遠足	9月26日
20		

評価方法・評価基準

課題提出40%、授業参加30%、能力評価30%として、その平均値を算出し評価を行う。

教科書・参考書・資料・文献
・『AFT色彩検定公式テキスト3級編』内閣府認定公益社団法人色彩検定協会著
・新配色カード199a・新配色カード199用演習台紙 日本色研事業株式会社 ・オリジナル模擬テスト

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
文部科学省後援AFT色彩検定協会認定色彩講師として、色彩検定やパーソナルカラー検定対策を行う他、 ファッション・美容・映像等各分野の企業や学校の色彩講義、カラーセミナー、パーソナルカラー診断を5年 以上担当。色彩、パーソナルカラーに関する知見を豊富にもつ。	○

授業科目名	SNS活用術	科目分類	講義	
必修・選択	必須科目	単位時間数		25時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	後期
教員	㈱レイワンダッシュ 廣瀬龍也	授業担当・外部講師	斎藤美空	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

- Instagram・Tik Tok等の使い方を習得
- SNSでコンテンツを発信し、分析を行えるようにする
- マーケティングの理解を深めて、どんなブランドであっても集客から販売までマーケターとしてアドバイスできるようになる。

授業方法・形態

講義80%実習20%

回	授業計画・内容	実施日程
1	オリエンテーション	10月3日
2	プランディング	10月10日
3	セルフプランディング	10月17日
4	運動会	10月24日
5	海外研修	10月31日
6	マーケティング	11月7日
7	Instagramの基礎と応用	11月14日
8	SNS分析	11月21日
9	企画書作成	11月28日
10	撮影	12月5日
11	動画編集	12月12日
12	分析	12月19日
13	企画書作成	1月9日
14	撮影	1月16日
15	動画編集	1月23日
16	分析とSNS活用の総集編	1月30日
17	卒業制作ファッションショー期間	2月6日～27日
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

授業態度、SNSの実績、各コンテンツのクオリティやテストで採点する。

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
アパレルブランド等のSNSマーケターとして活動中。	○

授業科目名	スタイリスト業界研究	科目分類	演習	
必修・選択	必須科目	単位時間数		45時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	前期
教員	伏見 幸恵	授業担当・外部講師	伏見 幸恵	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

スタイリストが関わる、スタイリスト業界について情報習得を目的とし以下を学ぶ。

- 1.出版社
- 2.ファッション誌の種類や媒体、ブランド
- 3.ファッション誌に関わるスタイリスト

授業方法・形態

はじめに講義を行い、その後各自各自のテーマごとに分野研究を行う

回	授業計画・内容	実施日程
1	授業紹介、自己紹介	4月8日
2	ファッション誌について（各媒体について、媒体研究）	4月15日～6月3日
3	ファッション誌マトリクス作成（グループワーク）	6月10日～6月24日
4	ファッション誌掲載ブランドマトリクス作成（グループワーク）	7月1日～7月22日
5	ファッション誌スタイリストについて	9月2日～9月9日
6	テスト	9月16日
7	復習、まとめ	9月30日
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」、「課題評価」、「テスト」その平均値を算出し評価を行う。

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴 東京服飾専門学校 卒業 株式会社凛 PRESSを5年以上経験し、PR,スタイリストに関する知見を豊富に持つ	実務者教員 <input checked="" type="radio"/>
--	---

授業科目名	服飾技術実習	科目分類	実習			
必修・選択	必修科目	単位時間数		80時間		
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	1年次	通年		
教員	古賀由紀夫	授業担当・外部講師	古賀由紀夫			
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術						
<p>縫製技術や装飾技術の基礎的な知識を習得する。</p> <p>スタイリストとして現場で必要な縫製技術を学ぶ。</p> <p>提出期限を守る意識を身につける。</p>						
授業方法・形態						
講義を行い制作過程の説明。各自作品製作。						
回	授業計画・内容			実施日程		
1	オリエンテーション/基礎縫い（まつりぬい、糸と針、玉留め）			4月7日		
2	手縫いの基礎/裾上げ実習			4月14日		
3	ピンクッション製作（デザイン、材料選び、プランケットステッチ、製作）			4月21日～5月19日		
4	ミシンの扱い方	ロックミシンの扱い方		5月26日		
5	トートバッグ製作（デザイン材料選び、裁断、縫製）			6月2日～6月23日		
6	装飾の技法/ビーズとスパングル			6月30日～9月1日		
7	前期試験、習得度の確認（筆記・実技）			9月8日		
8	エプロン製作（デザイン材料選び、裁断、縫製）			9月22日～10月27日		
9	リメイク製作/修了製作（デザイン材料選び、裁断、縫製）			11月10日～12月22日		
10	後期試験			1月19日		
11	リメイク、修了製作提出			1月26日		
12	ファッショショ一期間			2月2日～2月16日		
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
評価方法・評価基準						
提出物 筆記試験 平常点の平均						
教科書・参考書・資料・文献						
オリジナルプリント 項目別						

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
中央大学卒 雑誌編集者として、文化出版局にて装苑、ハイファッショソなどの編集業務をする 10年。 ニットデザイナー、手芸家として東京コレクション、雑誌などに作品を提供。	○

授業科目名	衣装・服飾技術	科目分類	実習	
必修・選択	必修科目	単位時間数		205時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	2年次	通年
教員	古賀由紀夫	授業担当・外部講師	古賀由紀夫	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

1年次のリメイク作品を踏まえ、オリジナルのデザインの衣服を製作する。

デザインをして記事を選び、カスタマイズ、サイズアレンジなどのデザイン技術を習得する。

授業方法・形態

講義を行い制作過程の説明。各自作品製作。

回	授業計画・内容	実施日程
1	オリエンテーション 基礎ぬい 裾上げ まつりぬい	4月10日
2	帽子製作（バケットハット、ベレー/デザイン、パターン製作、アレンジ）	4月17日～5月15日
3	アイドル衣装/イベント（デザイン、デザイン画）	5月22日
4	リメイク製作(セットアップorワンピース/デザイン、製作)	5月29日～6月26日
5	刺繍、パッチワークなどの技法説明、製作	7月3日
6	小物製作（アクセサリー、コサージュ）	7月10日～7月17日
7	前期ショーリハーサル	7月24日
8	シャツ製作（デザイン、パターン、裁断、縫製）	9月4日～10月2日
9	パンツの製作（デザイン、生地選び、採寸、パターン製作、裁断、縫製）	10月9日～12月4日
10	パンツのサイズ調節/お直しの知識	12月11日
11	期末テスト	12月18日
12	パンツの製作/提出	12月25日
13	小物製作(ヘアアクセサリー、カチューシャ、シュシュ、リボンなど)	1月8日～1月29日
14	ファッショショ一期間	2月5日～2月26日
15		
16		
17		
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

課題提出、期末テスト、平常点の平均

教科書・参考書・資料・文献

プリント オリジナル資料

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
中央大学卒 雑誌編集者として、文化出版局にて装苑、ハイファッションなどの編集業務をする 10年。 ニットデザイナー、手芸家として東京コレクション、雑誌などに作品を提供。	○

授業科目名	スタイリスト実習Ⅱ	科目分類	実習	
必修・選択	選択科目	単位時間数		190時間
科目設置学科	スタイリスト科2年	対象学年	2年次	通年
教員	佐藤 慶明	授業担当・外部講師	師田会計事務所	師田寛康

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

◇守秘義務について◇洋服に対する知識

◇スタイリストアシスタントとしての立ち振舞い(言葉遣い、マナー等) →アイテム名やディティールの名称、各国のサイズ表記等の基礎

◇スタイリストアシスタントとして即実践につながるスキルの習得(アイロン掛け、まつり縫い等)定番アイテムとそれを扱うブランドの歴史等

◇都内主要地区の地理の把握

授業方法・形態

パワーポイントを使用した講義、過去の自身の経験からの問題の解決ノウハウ服飾に関する知識

回	授業計画・内容	実施日程
1	仕事の流れ、守秘義務、仕事道具紹介、現状把握アンケート	4月8日
2	地図(大通り、小道、建物・交差点)	4月15日
3	地図(大通り、小道、建物・交差点)	4月22日
4	地図(大通り、小道、建物・交差点) 街歩き(リサーチ)	5月13日
5	業界用語 現場で実際に使われる用語への理解を深める	5月20日
6	業界用語 現場で実際に使われる用語への理解を深める	5月27日
7	業界用語 現場で実際に使われる用語への理解を深める	6月3日
8	サイズ (各国サイズ表記、靴、体型別、スーツサイズ)伊・仏・英・米様々なサイズ表記習得	6月10日
9	サイズ (各国サイズ表記、靴、体型別、スーツサイズ)伊・仏・英・米様々なサイズ表記習得	6月17日
10	服のたたみ方/ネクタイの結び方	6月24日
11	海外マナー、豆知識 海外にて衣裳のトラブル対応できる知識の習得	7月1日
12	衣裳説明で使える修飾語と話の組み立て方 プレゼンテーション	7月8日
13	衣裳説明で使える修飾語と話の組み立て方 プレゼンテーション	7月15日
14	TPOやスタイルの特徴を深堀りしていく スーツ(国別シルエット、ディティール)	7月22日
15	服の成り立ちや主要なブランド習得 定番服	9月2日
16	前期総復習	9月9日
17	前期テスト	9月16日
18	前期振り返り 復習と応用	9月30日
19		
20		

評価方法・評価基準

提出改題の期限と出席日数、授業態度、発言、学期末テストの点数より算出

教科書・参考書・資料・文献

スタイリングブック・各種文献・各種資料

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
1986年よりスタイリスト、2002年より東京服飾専門学校にて非常勤講師	○

授業科目名	スタイリスト実習Ⅱ	科目分類	実習	
必修・選択	選択科目	単位時間数		190時間
科目設置学科	スタイリスト科2年	対象学年	2年次	通年
教員	佐藤 慶明	授業担当・外部講師	師田会計事務所	師田寛康

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

◇守秘義務について◇洋服に対する知識

◇スタイリストアシスタントとしての立ち振舞い(言葉遣い、マナー等) →アイテム名やディティールの名称、各国のサイズ表記等の基礎

◇スタイリストアシスタントとして即実践につながるスキルの習得(アイロン掛け、まつり縫い等) 定番アイテムとそれを扱うブランドの歴史等

◇都内主要地区の地理の把握

授業方法・形態

パワーポイントを使用した講義、過去の自身の経験からの問題の解決ノウハウ服飾に関する知識

回	授業計画・内容	実施日程
1	短靴、ブーツ (ディティール、ケア方法)・靴への理解	10月7日
2	社会人としての知識の習得 税金について(ゲスト講師)	10月14日
3	業界用語2、略語、テレビ局略称 業界全体で使われる用語とテレビ局の略称	10月21日
4	定番服② それぞれの服の成り立ちや主要なブランド	10月21日
5	撮影準備、衣裳管理 衣装管理	10月28日
6	地図2(テレビ局、有名スタジオ、前期おさらい) テレビ局とスタジオの位置関係	11月4日
7	スニーカー(定番の品名とブランドの歴史) 靴への理解を深める	11月11日
8	地図の把握(有名スタジオ等)	11月18日
9	迷彩や軍服の種類 ミリタリー	11月25日
10	年代別ファッション 1976-1996	12月2日
11	年代別ファッション 1997-2007	12月9日
12	年代別ファッショն 2008-2020 一週間コーディネイト	12月16日
13	一週間コーディネイト	12月23日
14	一週間コーディネイト 発表	1月6,13日
15	商品とサンプルの違い 素材の違いを理解して衣裳の扱いを考える	1月20日
16	後期テスト	1月27日
17	卒業制作ファッションショー	2月3~24日
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

提出改題の期限と出席日数、授業態度、発言、学期末テストの点数より算出

教科書・参考書・資料・文献

スタイリングブック・各種文献・各種資料

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
1986年よりスタイリスト、2002年より東京服飾専門学校にて非常勤講師	○

授業科目名	ファッショングビジネス論	科目分類	演習	
必修・選択	必修	単位時間数		50時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	2年次	前期
教員	石川 誠	授業担当・外部講師	石川 誠	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

日本ファッショング教育振興協会主催ファッショングビジネス能力検定3級（ビジネス知識/造形知識）の習得、同検定資格取得

授業方法・形態

日本ファッショング教育振興協会発行テキストと過去問題集回答・補足説明の反復形式

回	授業計画・内容	実施日程
1	ファッショングビジネス概要/ファッショングビジネスの基礎	4月9日
2	ファッショング消費・消費行動①	4月16日
3	ファッショング消費・消費行動②	4月23日、30日
4	アパレル産業と小売産業	5月7日
5	ファッショングマーケティング①	5月14日
6	ファッショングマーケティング②	5月21日
7	ファッショングマーチャンダイジング①	5月28日
8	ファッショングマーチャンダイジング②	6月4日
9	ファッショング流通①	6月11日
10	ビジネス基礎知識①	6月18日
11	模擬テスト①	6月25日
12	模擬テスト②	7月2日
13	ファッショング商品知識①	7月9日
14	ファッショング商品知識②	7月16日
15	ファッショング商品知識③	9月3日
16	前期振り返り・総合模擬試験①	9月10日
17	総合模擬試験②	9月17日
18	総合模擬試験③	9月24日
19		
20		

評価方法・評価基準

各項目に標準点を置き、「意欲・理解度」100ポイント/「課題評価」100ポイントとし、平均点算出評価（出席率が75%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする）出席率が65%未満の場合は留年対象となる。

教科書・参考書・資料・文献

日本ファッショング教育振興協会：ファッショングビジネス3級新版、
ファッショングビジネス能力検定試験3級項目別試験問題・解答集 改訂版、実施試験問題

担当教員の経歴・実務経験	実務者教員
総合職で国内デザイナーブランドへ総合職入社。退職後、渡英、ロンドン・カレッジ・オブ・ファッショングにてファッショングマーケティング/プロモーションを専攻・卒業。小売/卸営業、バイヤー、マーチャンダイザー、商品部長/営業部長を歴任。	○

授業科目名	スタイルコーディネート論	科目分類	演習	
必修・選択	必修科目	単位時間数		150時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	2年次	通年
教員	石原輝美	授業担当・外部講師	石原輝美	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

英米仏日のストリートスタイルを中心とした近現代ファッショング史を学び、ファッショング知識を深める。学んだことを現代風のスタイリングにアレンジすることで、応用力・創意工夫の能力を高め、スタイリングの幅を広げる。自分の考えを的確に伝えるプレゼン力を養う。*1年次にやりきれなかった商品学をフォローし、その授業も行う

授業方法・形態

国別の近現代ファッショング史の講義、それを踏まえてのスタイリング課題作成（PC、タブレット使用）、作品のプレゼン。

回	授業計画・内容	実施日程
1	授業ガイダンス、自己紹介	4月9日
2	パンツ・スカートの商品学／トレンドリサーチ	4月16日
3	スカートを使ったスタイリング演習／プレゼン	4月23,30日
4	ジーンズの基礎知識講義／トレンドリサーチ・ジーンズスタイリング演習	5月7日
5	ジーンズスタイリング演習	5月14日
6	ジーンズスタイリングプレゼン／レディースシューズの商品学	5月21日
7	アメリカのスタイル1 講義／アメリカのスタイル1 演習	5月28日
8	アメリカのスタイル1 演習	6月4日
9	アメリカのスタイル1 プrezen	6月11日
10	イギリスのスタイル1 講義／イギリスのスタイル1 演習	6月18日
11	イギリスのスタイル1 演習	6月25日
12	イギリスのスタイル1 プrezen	7月2日
13	日本のアパレル業界の基礎知識	7月9日
14	ドメスティックブランドのカタログ演習①	7月16日
15	前期修了ショーリハーサル	7月23日
16	テスト範囲の総復習	9月3日
17	ペーパーテスト	9月10日
18	ドメスティックブランドのカタログ演習②／カタログ演習プレゼン	9月17日
19	バッグ・ベルト・時計の商品学／リアルストリートリサーチ（原宿、渋谷など）	9月24日
20		

評価方法・評価基準

課題、授業、ペーパーテストの点数で総合的に評価。課題提出50%、助行参加20%、ペーパーテスト30%。

教科書・参考書・資料・文献

『ザ・ストリートスタイル』高村是州

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
日之出出版株式会社 ファッショング誌の編集・スタイリング（編集長含む）を17年経験。ファッショングの基礎知識、ストリートスタイルに関する知見を持つ。	○

授業科目名	スタイルコーディネート論	科目分類	演習	
必修・選択	必修科目	単位時間数		150時間
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	2年次	通年
教員	石原輝美	授業担当・外部講師	石原輝美	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

英米仏日のストリートスタイルを中心とした近現代ファッショング史を学び、ファッショング知識を深める。学んだことを現代風のスタイリングにアレンジすることで、応用力・創意工夫の能力を高め、スタイリングの幅を広げる。自分の考えを的確に伝えるプレゼン力を養う。

授業方法・形態

国別の近現代ファッショング史の講義、それを踏まえてのスタイリング課題作成（PC、タブレット使用）、作品のプレゼン。

回	授業計画・内容	実施日程
1	ストリートリサーチまとめ・サーブラスウェアの基礎知識講義／スタイリング演習	10月1日
2	サーブラスウェア演習／サーブラスプレゼン・アメリカのスタイルII講義	10月8日
3	アメリカII演習／アメリカIIプレゼン	10月15日
4	イギリスのスタイルII講義／演習	10月22,29日
5	イギリスIIプレゼン／フランスのスタイル講義	11月5日
6	フランス演習／プレゼン	11月12日
7	日本のストリートスタイル講義／ファッショングスナップ@原宿	11月19日
8	ファッショングスナップまとめ＆プレゼン／世界の名品調べ	11月26日
9	世界の名品調べ／プレゼン	12月3日
10	フォーマルウェア講義／フォーマルウェア演習	12月10日
11	フォーマルウェア演習・プレゼン／ハイブランド研究	12月17日
12	ハイブランド研究／プレゼン	12月24日
13	テスト範囲の総復習	1月7日
14	ペーパーテスト	1月14日
15	卒業制作演習	1月21日
16	卒業制作演習／プレゼン	1月28日
17	卒業制作ファッショショ一期間	2月4～25日
18		
19		
20		

評価方法・評価基準

課題、授業、ペーパーテストの点数で総合的に評価。課題提出50%、助行参加20%、ペーパーテスト30%。

教科書・参考書・資料・文献

『ザ・ストリートスタイル』高村是州

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
日之出出版株式会社 ファッショング誌の編集・スタイリング（編集長含む）を17年経験。ファッショングの基礎知識、ストリートスタイルに関する知見を持つ。	○

授業科目名	キャリアデザイン	科目分類	演習				
必修・選択	必修科目	単位時間数		95時間			
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	2年次	前期			
教員	伏見 幸恵	授業担当・外部講師	伏見 幸恵				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
スタイリスト業界について知見を広げる。就職に向け以下を学ぶ。							
1.スタイリスト業界（仕事のジャンルについて）							
2.アシスタントにジャンルの選定方法							
3.ビジネスマナーマナーを習得し、現場で適切に振る舞えるようになる							
4.現場での問題解決能力や柔軟な対応力							
授業方法・形態							
はじめに講義を行い、その後各自リサーチ、必要書類の作成、課題作成、自分の世界観の表現、SNSにスタイリング掲載							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	授業説明アンケート			4月11日			
2	自己分析、他己分析			4月18日			
3	スタイリストリサーチ			4月25日			
4	スポーベ			5月9日			
5	スタイリストリサーチ			5月16～30日			
6	ポートフォリオ製作（撮影、写真加工、プレゼン）			6月6、13日			
7	履歴書用必要書類作成（インターナークス）			6月20日			
8	ポートフォリオ製作（撮影、写真加工、プレゼン）			6月27日			
9	ビジネスマナー、履歴書作成、就職活動先、インターナークスリストアップ			7月4日～18日			
10	前期修了ショ一本番			7月25日			
11	冠婚葬祭服装			9月5日			
12	テスト			9月12日			
13	復習、まとめ			9月16日			
14	遠足			9月26日			
15							
16							
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」、「課題評価」、「テスト」その平均値を算出し評価を行う。「履修意欲・習熟度50%」「課題、テスト評価50%」、							
教科書・参考書・資料・文献							
担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員						
東京服飾専門学校 卒業 株式会社凛 PRESSを5年以上経験し、PR、スタイリスト、モデル事務所に関する知見を豊富に持つ	<input checked="" type="radio"/>						

授業科目名	卒業制作ファッションショー制作実習	科目分類	実習				
必修・選択	必修	単位時間数		100時間			
科目設置学科	ビジネス科/スタイリスト科	対象学年	2年次	後期			
教員	石川 誠	授業担当・外部講師	石川誠 石川 田中 周郷				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
大規模イベントの企画立案からプレゼンテーションの流れ。役割分担・進捗度確認を含む、実行までの知識習得。各係ごとの作業を通して、コミュニケーション能力、チームワーク力、イベントの流れ、使用機材の知識習得・技術向上を目指す。							
授業方法・形態							
役割分担後、チームワークとして稼働。ディスカッション・決定・アクションをスケジュール管理と共に実習する							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	授業内容説明・スケジュール確認（リーダー選出、係決定）			10月3日			
2	ショー全体に向けた企画立案			10月10日			
3	ショー全体スケジュールプレゼンテーション（全校）			10月17日～31日			
4	各係ごと作業 プrezentation準備			11月7日			
5	第一回プレゼンテーション			11月14日			
6	各係ごと作業 プrezentation準備			11月21日			
7	第二回プレゼンテーション			11月28日			
8	各係ごと作業 プrezentation準備			12月5日			
9	第三回プレゼンテーション			12月12日			
10	各係ごと作業			12月19日			
11	各係ごと作業			1月9日			
12	ファッショントレーニング準備期間			1月16日～2月27日			
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
「意欲・理解度・積極性」を評価基準として10段階で評価/平均点算出評価（出席率が60%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする）出席率が60%未満の場合は補講対象となる。							
教科書・参考書・資料・文献							
担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員						
総合職で国内デザイナーブランドへ総合職入社。退職後、渡英、ロンドン・カレッジ・オブ・ファッションにてファッションマーケティング/プロモーションを専攻・卒業。小売/卸営業、バイヤー、マーチャンダイザー、商品部長/営業部長を歴任。	○						

授業科目名	ファッションジャーナリズム II	科目分類	実習				
必修・選択	必修科目	単位時間数		35時間			
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	2年次	後期			
教員	株式会社bass 細野敏彦	授業担当・外部講師	株式会社bass 細野敏彦				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
<p>ファッション雑誌についての造詣を深める講義を行うとともに、実際に学生たちが自分の手によって、雑誌のページ制作を行う。コンテンツの方向性、各特集やページのテーマ設定から始まり、入稿データの作成までを行い、成果物として、1本の雑誌特集が出来上がる達成感を習得する。</p>							
授業方法・形態							
<p>雑誌特集制作の各ステップを実習として行うことで、制作現場そのものを体感してもらう。</p>							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	特集企画案の作成			10月6日			
2	絵コンテの作成			10月20日			
3	海外研修			10月27日			
4	撮影計画書の作成（時間割、経費）			11月10日			
5	撮影実習／被写界深度、シャッタースピード			11月17日			
6	撮影に出かける			12月1日			
7	撮影した写真のセレクト			12月8日			
8	見開き雑誌特集の制作①			12月15日			
9	見開き雑誌特集の制作②			12月22日			
10	作成した雑誌特集の発表会			1月19日			
11	作文 tfacで得られた、一番大きなもの			1月26日			
12	卒業制作ファッションショ一期間			2月2～16日			
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
<p>上記提出物の内容が、講義内容を正確に習得できているかを、100点満点で採点。理解度の不足部分について、点数を減算することで評価を行う。</p>							
教科書・参考書・資料・文献							
各種ファッション雑誌							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
株式会社 主婦と生活社 LEON編集長補佐、ar編集長、私のカントリー編集長	○

授業科目名	Excel & Word講座	科目分類	演習				
必修・選択	必修	単位時間数		45時間			
科目設置学科	スタイリスト科	対象学年	2年次	前期			
教員	鶴本 望	授業担当・外部講師	鶴本 望				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
<p>Word、Excel共に1年次で基礎を履修済であることをふまえ、2年次ではより実務的なスキルを身につけることを目標とする。</p> <p>Excel：MOS（Excel365）資格合格、または資格同等のスキルを習得する。</p> <p>Word：デザイン文書の制作を通して、レイアウト構成や色彩感覚、細かなWordスキルを習得する。</p>							
授業方法・形態							
一人一台WindowsPCを用意。							
Excel：対策テキストをベースに、問題を出題→解答解説、操作ポイントの説明を繰り返していく。							
Word：文書デザインコンテスト応募にむけてまず必要なスキルの指導を行い、作品製作時には中間チェックを挟みながら完成にむけて精度を高めていく。							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	オリエンテーション			4月7日			
2	Excel MOS試験対策① ワークシートやブックの管理			4月14日			
3	Excel MOS試験対策② セルやセル範囲のデータの管理			4月21.28日			
4	Excel MOS試験対策③ テーブルとテーブルのデータの管理			5月12日			
5	Excel MOS試験対策④ ここまでのおさらい			5月19日			
6	Excel MOS試験対策⑤ 数式や関数を使用した演算			5月26日			
7	Excel MOS試験対策⑥ グラフの管理			6月2日			
8	Excel MOS試験対策⑦ ここまでのおさらい			6月9日			
9	Excel MOS試験対策⑧ 模擬試験反復			6月16.23日			
10	Excel MOS試験 受験			6月30日			
11	Word 文書デザインコンテスト① イラスト文書の作成方法、著作権とは			7月7日			
12	Word 文書デザインコンテスト② チラシ作成時の色彩感覚			7月14日			
13	Word 文書デザインコンテスト③ 文書製作			9月1～29日			
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
履修意欲 20%、課題評価 30%、技術試験 50%として評価を行う。							
教科書・参考書・資料・文献							
『Microsoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト & 問題集』FOM出版							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
神戸大学卒業 IT関連企業にてヘルプデスクやWindows操作講習講師を3年以上、 本校にてOffice関連授業を3年	○

授業科目名	販売実務演習	科目分類	演習	
必修・選択	1年次必修、2年次選択	単位時間数		45時間
科目設置学科	ファッションビジネス科、スタイリスト科	対象学年	1年次、2年次	前期
教員	山内 講平	授業担当・外部講師	山内 講平	

授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術

ファッション業界におけるファッションビジネスの職種や職域理解

販売職の職業理解と業務内容を習得

販売職からステップアップする方法や職種を理解し、自身の適正を探る

授業方法・形態

講義にて必要な知識を習得し、課題制作で基礎からの応用や実践に取組み、発表を通して他者のアイディアと自分自身の個性や強みを見つける。グループワークを通してデスカッションやロールプレイングを実践し体得する

講義30%、グループワーク40%、実習30%

回	授業計画・内容	実施日程
1	ファッションビジネスとは? /川上・川中・川下	4月8日
2	良い販売員とは? グループワーク・ディスカッション	4月15日
3	販売員の一日/レジ周りの業務/金種確認/領収証の書き方	4月22日
4	トレンドとは? /5大コレクション/東京コレクション	5月13日
5	3大コレクション/主要ブランド概要	5月20日
6	品質表示タグ/正しい洗濯の方法/素材別ケア方法	5月27日
7	尊敬語・謙譲語/電話のマナー/ビジネスメール	6月3日
8	ロールプレイング①ファーストアプローチ	6月10日
9	ロールプレイング②接客基礎	6月17日
10	ロールプレイング③電話対応とメール対応	6月24日
11	店舗リサーチ課題説明/ミステリーショッパーとは	7月1日
12	店舗リサーチ実施日	7月8日
13	プロパー・セール・マークダウン	7月15日
14	ブランド知識①海外ブランド	7月22日
15	ブランド知識②国内ブランド	9月2日
16	期末テスト実施	9月9日
17	テスト解答と解説	9月16日
18	ロールプレイング④試着とアフターフォロー	9月30日
19		
20		

評価方法・評価基準

課題提出(グループワーク含む)50%、授業参加20%、筆記テストによる評価30%

課題において、グループと個人の貢献度を分けて評価

教科書・参考書・資料・文献

ファッション販売員プロの常識BOOK

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
販売、セレクトショップ・アタッシュドプレス、セレクトショップ立上げ・バイイング、スタイリストなど様々な職種を経験。	○

授業科目名	就職ガイダンス	科目分類	講義				
必修・選択	1年次必修、2年次選択	単位時間数		50時間			
科目設置学科	ファッショニビジネス科 スタイリスト科	対象学年	1年次、2年次	後期			
教員	花園 和年	授業担当・外部講師	花園 和年				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
業界研究を通じ幅広い企業に目を向ける。自己分析に基づき適職、企業検索。マナー、SPI対策。エントリーシート作成。就職活動を促進するような企業説明会の実施。							
授業方法・形態							
講義60% 実習40%							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	オリエンテーション（就活スケジュール解説、働き方解説）			10月7日			
2	業界研究 1 川上から川下まで			10月14日			
3	業界研究 2 川上から川下まで			10月21日、28日			
4	ジョブカード解説、作成			11月4日			
5	ジョブカード解説、作成			11月11日			
6	自己PR作成 1			11月18日			
7	自己PR作成 2			11月25日			
8	企業説明会 BANKANわものや			12月2日			
9	敬語、マナー対策 1			12月9日			
10	敬語、マナー対策 2			12月16日			
11	SPI対策 1			12月23日			
12	SPI対策 2			1月6日、13日			
13	企業説明会 マークスタイルラー			1月20日			
14	後期終了テスト/試験解説 1			1月27日			
15	ファッショニショ一期間			2月3日～24日			
16							
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
各項目に標準点を置き「履歴意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均点を算出し評価を行う。 (出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は留年。)							
教科書・参考書・資料・文献							
課題により適時それに応じた資料を使用							
担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員						
テキスタイルユニット企画2年、合織企画5年、プリントMD5年 海外製品バイヤー20年	○						

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	企業連携実務講座	科目分類	演習・実習				
必修・選択	必修（ビジネス科）選択（スタイリスト科）	単位時間数		95時間			
科目設置学科	ファッションビジネス科・スタイリスト科	対象学年	2年次	通年			
教員	石川 誠	授業担当・外部講師	石川 誠				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
<p>実践的なスキルの習得：実際の業務を体験することで、知識を実践に活かせる力を養う</p> <p>企業が求める人材の理解：企業の実際の業務フローや職場環境を経験し、必要なスキルを把握する</p> <p>問題解決能力の向上：企業が抱える課題に取り組み、解決策を考える実践型の学習産業界とのネットワーク構築</p> <p>キャリア意識の向上：企業の業務を経験することで、将来の進路をより明確にする</p> <p>これらを最終目的とし、実務基本的知識・スキル学習とキャリアパスをより明確にすること。</p>							
授業方法・形態							
業界課題でもあるデジタル、オンラインでの人的実務の一元化をバランス良く学習するため、登壇企業様による講座・ワークショップ、現場見学を総合的に行い、より多くのリアルな実務学習を行う							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	企業連携実務講座の目的と目標			4月8日			
2	E-コマースの知識と実務学習：（株）アッカ・インターナショナル様			4月15日			
3	業界研究/レポート作成（トレンド・戦略・リスク管理・展望）			4月22日			
4	業界研究/レポート作成（トレンド・戦略・リスク管理・展望）提出			5月13日			
5	（株）アッカ・インターナショナル様 企業研究レポート作成/提出			5月20日			
6	倉庫訪問・見学・実務経験			5月27日			
7	E-Commerceの基礎知識			6月3日			
8	E-Commerceの基礎知識 小テスト			6月10日			
9	工場からウェブサイトへ掲載までの実務			6月17日			
10	工場からウェブサイトへ掲載までの実務 小テスト			6月24日			
11	購買プロセスからデリバリー			7月1日			
12	購買プロセスからデリバリー 小テスト			7月8日			
13	返品・返金・交換の一連のプロセス			7月15日			
14	返品・返金・交換の一連のプロセス 小テスト			7月22日			
15	E-Commerceに必要な知識・権利・コンプライアンス			9月2日			
16	E-Commerceに必要な知識・権利・コンプライアンス テスト			9月9日			
17	同講座振り返り①			9月16日			
18	同講座振り返り②			9月30日			
19							
20							
評価方法・評価基準							
「意欲・理解度・積極性」を評価基準として10段階で評価/平均点算出評価（出席率が60%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする） 出席率が60%未満の場合は補講対象となる。最終課題も成績に加算。							
教科書・参考書・資料・文献							
企業様会社概要、作成授業資料							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
総合職で国内デザイナーブランドへ総合職入社。退職後、渡英、ロンドン・カレッジ・オブ・ファッションにてファッションマーケティング/ プロモーションを専攻・卒業。小売/卸営業、バイヤー、マーチャンダイザー、商品部長/営業部長を歴任。新卒・中途社員採用実務15年以上経験。	○

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	企業連携実務講座	科目分類	演習・実習				
必修・選択	必修（ビジネス科）選択（スタイリスト科）	単位時間数		95時間			
科目設置学科	ファッションビジネス科・スタイリスト科	対象学年	2年次	通年			
教員	石川 誠	授業担当・外部講師	石川 誠				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
<p>実践的なスキルの習得：実際の業務を体験することで、知識を実践に活かせる力を養う</p> <p>企業が求める人材の理解：企業の実際の業務フローや職場環境を経験し、必要なスキルを把握する</p> <p>問題解決能力の向上：企業が抱える課題に取り組み、解決策を考える実践型の学習産業界とのネットワーク構築</p> <p>キャリア意識の向上：企業の業務を経験することで、将来の進路をより明確にする</p> <p>これらを最終目的とし、実務基本的知識・スキル学習とキャリアパスをより明確にすること。</p>							
授業方法・形態							
業界課題でもあるデジタル、オンラインでの人的実務の一元化をバランス良く学習するため、登壇企業様による講座・ワークショップ、現場見学を総合的に行い、より多くのリアルな実務学習を行う							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	フルフィルメント業務とは？			10月7日			
2	フルフィルメント業務とは？小テスト			10月14日			
3	総括・学習レポート作成			10月21日、28日			
4	小売店での接客知識とスキル学習 (株)アバハウスインターナショナル様			11月4日			
5	小売店の接客基礎と顧客対応			11月11日			
6	販売スキルと商品提案力の向上			11月18日			
7	クレーム対応とトラブルマネジメント			11月25日			
8	リピーター獲得と顧客関係構築			12月2日			
9	VMD（ビジュアルマーチャンダイジング）と店舗演出			12月9日			
10	SNSを活用した接客と販売促進			12月16日			
11	実践的店頭&SNS接客の統合トレーニング/成果評価			12月23日			
12	ファッション業界の動向・職種・社会的貢献：業界コンサルタント 登壇			1月6日、13日			
13	ファッション業界の動向・職種・社会的貢献：デジタルプランディング企業代表 登壇			1月20日			
14	ファッション業界の動向・職種・社会的貢献：海外ブランドインポーター社長 登壇			1月27日			
15	ファッションショー期間			2月3日～24日			
16							
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
「意欲・理解度・積極性」を評価基準として10段階で評価/平均点算出評価（出席率が60%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする）出席率が60%未満の場合は補講対象となる。最終課題も成績に加算。							
教科書・参考書・資料・文献							
企業様会社概要、作成授業資料							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
総合職で国内デザイナーブランドへ総合職入社。退職後、渡英、ロンドン・カレッジ・オブ・ファッションにてファッションマーケティング/ プロモーションを専攻・卒業。小売/卸営業、バイヤー、マーチャンダイザー、商品部長/営業部長を歴任。新卒・中途社員採用実務15年以上経験。	○